

旭市七夕市民まつりを開催！

テーマ「のぼる旭 祈りを込めて」に決定！

東日本大震災からの復興を祈願するとともに、市民の皆さんに「元気と勇気」を届け、復興への決意を全国に発信する祭りにします。

開催日／8月6日(土)、7日(日)

場所／中央商店街パレードコース、各イベント会場など



参加団体募集！

踊りやダンスチーム、みこし、お囃子、ステージでのパフォーマンス、七夕復興市への出店団体など、旭を盛り上げてくれる人たちを募集します。くわしくは問い合わせください。

※踊りやダンスで参加する場合、共通曲として「旭音頭」を使用すること。そのほかの選曲は自由です。

申込期限／7月5日(火)

申し込み・問い合わせ先

旭市七夕市民まつり実行委員会(☎62-7537)



献血 — 命を救う大きな力 —

なぜ献血って必要なの？

献血は、年間に約514万もの人たちから協力をいただき、その血液は輸血を中心として医療を支えています。

人間の生命を維持するために、欠くことのできない血液は、人工的に造ることができません。また血液は、生きた細胞ですので、保存することもできません(有効期間：採血後21日間)。輸血に必要な血液を十分に確保しておくためには、絶えず誰かの献血が必要なのです。

献血ってどれくらい採血するの？

献血には「成分献血」「400ml献血」「200ml献血」があります。400mlと200mlの献血は、血液中の全ての成分を採血します。市町村や勤務先などを訪問しての移動採血では、現在400mlと200mlの献血を行っています。また医療機関からの要請もあり、基準を満たした人には、

400ml献血をお願いしています。

なぜ400ml献血なの？

一人一人の血液は、血液型が同じでも微妙に違いがあります。同型であっても複数の血液を輸血するほど、副作用(発熱、発疹など)が起こる可能性が高まります。400ml献血は、少ない献血者からの輸血が可能となり、輸血の安全性を向上させることができます。

献血基準ってなに？

健康な人であれば、献血による体への影響はほとんどありませんが、健康状態が優れないときなどに献血をすると、健康を損ねる場合があります。日本赤十字社では、献血者の健康を守るために、さまざまな基準を設けています。献血は、医師の問診、血圧測定、血液検査などを行い、基準を満たした人の協力をいただいています。また血液の検査成績は、希望すれば後日通知します。

旭市内で行われる献血は、市の広報などで案内しています。今後も皆さんの協力をお願いします。

【千葉県赤十字血液センター】